

# 別府市医師会 創立100周年記念講演会

## 第81回 大分県医学会



日時：平成30年11月25日(日) 10:00▶12:30  
会場：別府市公会堂（市民会館 大ホール）

# 別府市医師会 創立100周年記念講演会 第81回 大分県医学会

日時：平成30年11月25日(日)10時～  
場所：別府市公会堂（市民会館 大ホール）

司会 大澤 直文

1. 開会の辞（10:00） 別府市医師会 副会長 馬場 欽也
2. 大分県医学会 会長挨拶 大分県医師会 会長 近藤 稔
3. 別府市医師会 会長挨拶 別府市医師会 会長 矢田 公裕
4. 「ゆけむり医療ネット」の紹介（10:20～10:40）  
別府市医師会 会長 矢田 公裕

5. 文化講演（10:40～11:30）

## 「別府温泉の地球科学（火山・温泉・地震） ——別府温泉の成り立ちと現在」

講師 京都大学名誉教授 竹村 恵二 先生

座長 別府市医師会 副会長 金馬 義平

6. 学術講演（11:40～12:30）

## 「外科学潮流の大変換」

講師 九州大学大学院 医学研究院  
臨床医学部門 外科学講座  
消化器・総合外科学分野 教授  
大阪大学名誉教授 森 正樹 先生

座長 別府市医師会 副会長 馬場 欽也

7. 閉会の辞（12:30） 別府市医師会 副会長 金馬 義平

## 第81回大分県医学会ご挨拶

大分県医師会 会長 近藤 稔



大分県医学会は、医学医術の研究と生涯教育の充実や地域医療の推進に努めることを目的として、年に1回開催しています。

第81回大分県医学会は一般社団法人別府市医師会に引き受けて頂き、別府市医師会創立100周年を記念して、別府市公会堂で開催されることに対し衷心から感謝申し上げます。

別府市医師会の生い立ちを拝見させて頂きますと、大正初期に「月並会」として月の会費が50銭、1円で集会がはじまり、往診は正装し人力車を使用するなど100年の歴史を感じます。

大正13年4月野口雄三郎先生が初代会長として別府市医師会を発足されて以来、歴代の会長さんをはじめ、現矢田会長以下理事役員の先生のご尽力で、別府市医師会創立100周年を迎えられるなど、輝かしい実績を積んでこられており、心から敬意を表します。

別府市医師会では地域医療・介護情報連携システムとして、平成22年3月に「ゆけむり医療ネット」を開設され、基幹病院と診療所を連携し情報を共有しながら、市民の医療・介護を支えられており、ご活躍に重ねて感謝申し上げます。

今日は文化講演として、京都大学名誉教授の竹村恵二先生から「別府温泉の地球科学（火山・温泉・地震）—別府温泉の成り立ちと現在」と題してご講演が予定されています。

別府は日本でも源泉数・湧出量とも日本一で、「おんせん県おおいた」を代表する地域であり、大変興味深いお話が聞けるものと期待しております。

学術講演として、九州大学大学院医学研究院 臨床医学部門外科学講座 消化器・総合外科学分野教授の森 正樹先生から「外科学潮流の大変換」と題してご講演を頂く事になっております。私が医師に成り立ての頃は、開腹して手術をしていましたが、現在では負担が軽く早期に復帰出来る内視鏡的手術をされているようで、外科学の進歩が窺えます。将来の外科学の方向性が教示されるものと期待しております。

会員の皆様の積極的なご参加とご協力をお願いし、第81回大分県医学会が成功裡に終了するとともに大分県医学会の益々の発展を祈念し、開会のご挨拶と致します。

## 創立100周年記念講演会ご挨拶

別府市医師会 会長 矢田 公裕



この度、第81回大分県医学会を別府市医師会で担当させていただくことになりました。

大分県医師会会長近藤稔先生のお許しを得まして別府市医師会創立100周年記念講演会と併催とさせていただきます。

別府市医師会は大正7年(1918年)に同業者の集まりの「月並会」として始まったと聞いております。大正9年(1920年)からの速見郡医師会所属を経て、大正13年(1924年)の別府市制に合わせて大分県別府市医師会となり、その後の94年間を順調に歩むことになりました。

別府市医師会の沿革としましては、昭和39年(1964年)に別府市医師会臨床検査センターが設立され、平成元年(1989年)には健診部門を加え地域保健センターとして運営されてきています。平成23年(2011年)から小学校4年生と中学校2年生全体を対象にした小児生活習慣病健診(健康チェック)を開始し、その後ヘリコバクター・ピロリ菌健診も追加しています。次代の担い手となる子どもたちの健康を様々な角度から支えて行くシステムが整ってきています。別府市医師会看護専門学校、別府市医師会訪問看護ステーションなども併設されています。

さらに平成22年(2010年)にゆけむり医療ネットが開始されました。これにより基幹病院と診療所、行政などが高いセキュリティの元で結ばれ、大事な患者情報も安心してやり取りすることが可能となりました。これらは更に在宅介護などにも拡張されて行っており、今後市民全体に向け、電子お薬手帳や電子母子手帳、さらに個人で健康管理が出来る Personal Health Record (PHR) にまで進める事が出来るようになります。また歯科医師会、薬剤師会とも接続し、三師会が一体となって市民の健康に寄与できるように進めていきます。さらに、2次医療圏の日出町や杵築市、国東市の医師会の皆様とも手を結んでいくように進められております。

さて本日の講演会ですが、このゆけむり医療ネットについて開発の経緯、開始から更なる発展について後ほどご説明をさせていただきます。病診・病病・診診連携のみならず、行政や地域医療・在宅看護・2次医療圏との連携も進めておりますし、更に今月より市民向けにゆけむり健康カード(仮称)、スマートフォン用のアプリも提供を開始しました。

次に京都大学名誉教授の竹村恵二先生より「別府温泉の地球科学―別府温泉の成り立ちと現在」と題しまして文化講演をいただきます。「ブラタモリ」ではありませんが、如何に別府温泉が出来てきたのか、どの様に変化していくのか等を解説していただけたらと思います。

最後に九州大学大学院 医学研究院 臨床医学部門外科学講座 消化器・総合外科学分野 教授であられます森 正樹先生より「外科学潮流の大変換」と言うご講演をいただきます。森先生は平成6年から平成20年3月まで九州大学生体防御医学研究所(現在九州大学病院別府病院)に在籍されており、本日は分子生物学的な消化器がんのお話も聞かせていただけたらと思います。先生は平成20年4月より大阪大学大学院教授をされておられましたが、本年10月より九州大学にお戻りになられました。

## 「ゆけむり医療ネット」の紹介

別府市医師会 会長 矢田 公裕

別府市の医療ネットワークとして「ゆけむり医療ネット」が作られて早7年となります。当初は基幹病院（新別府病院・別府医療センター・鶴見病院・九州大学病院別府病院）のカルテを参照する一方向だけの連携状況でしたが、保険証の資格確認や処方箋の電子化等の実証事業やシステムネットワーク委員会（関係団体の合議体）での協議を重ねながら有効な医療連携ツールとなってきました。救急時は治療内容が参照できる救急連携も行っています。平成29(2017)年度からは地域連携SNSを試用開始し、医介連携・地域連携へも進み始めています。

平成30(2018)年5月には市・保健所・薬剤師会・歯科医師会などと「ゆけむり医療協議会」を設立、別府市の医療・保健・福祉のインフラとして、更に今後は東部医療圏域も一緒に発展していきたいと考えています。100周年に合わせて、サーバーのクラウド化を行い、11月19日開通の予定です。完成すれば診療所からデータや画像をアップロード出来る様になります。また、スマートフォンアプリ「ゆけむりあんしんパレット」を開発。市民に健康データを提供出来る様になります。さらにSNSを利用して自治会・子ども会など地域コミュニティとの連携を進め、地域全体をカバーするネットワークに育てていく所存であります。

### ゆけむりあんしんパレットち

#### 市民のための健康ポータルサイト

- 市や医師会等からのお知らせ
- 健康アプリ あるとっく等
- 個人の健康データ参照
- 電子お薬手帳
- 電子母子手帳 etc.



## 文化講演

演題

# 別府温泉の地球科学 (火山・温泉・地震) 別府温泉の成り立ちと現在

講師

京都大学名誉教授 竹村 恵二 先生



別府温泉は世界的な温泉地として有名であり、国内外から多くの観光客が訪れる。

講演では、まず、別府温泉の地球科学的特徴を紹介する。火山活動にともなう扇状地・地熱地帯の形成とそれと関連する温泉現象である。さらに温泉の3要素としての、熱源・水・大地の割れ目の重要性を述べる。これらの科学的内容を住民と共有し、子供たちや観光客に知らせる仕掛けとしての別府温泉地球博物館の活動を軸に、これらの別府の温泉地の地球科学的特徴を述べる。それらをバーチャル博物館として、スライドで紹介する。また、温泉の恵みとともに温泉地が抱える自然災害等（火山災害・地震災害・気象災害など）についても別府を題材に紹介する。

## 竹村 恵二 (たけむら けいじ)

現職 京都大学名誉教授

昭和27年(1952) 福岡県生まれ

昭和51年(1976) 京都大学理学部卒業

昭和58年(1983) 京都大学大学院理学研究科博士課程修了、京都大学理学博士

京都大学理学部附属地球物理学研究施設(別府) 助手(昭和62年)・助教授(平成3年)を経て

平成7年(1995) 京都大学理学部地球物理学教室(京都) 助教授

平成7年(1995) 京都大学大学院理学研究科地球物理学教室(京都) 助教授

平成14年(2002) 京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設(別府) 教授

平成30年(2018) 3月31日 定年退職により京都大学名誉教授 現在に至る

平成17年(2005)から平成23年(2011)3月まで施設長

専門は第四紀地質学、ネオテクトニクス、自然史学、地盤科学、中部九州の火山・地震・古環境変遷など

## 外部委員など

**現在** 日本第四紀学会評議員(評議員会議長)、大分県防災会議委員、関西国際空港地盤調査委員会委員、文化庁文化審議会専門委員<天然記念物>、大分県ジオパーク構想アドバイザー、別府温泉地球博物館フィールド博物館代表、石川県真脇遺跡調査指導委員など。

**過去** 大分県地域防災計画再検討委員会有識者会議議長、大分県地震被害想定委員会副委員長、京都市、神戸市、京都府、三重県、兵庫県、大分県の地域活断層調査委員会や地震被害想定委員会委員、大分県天然記念物緊急調査(地質・鉱物・自然現象)指導委員、京都大学埋蔵文化財研究センター協議員、日本第四紀学会副会長、日本地球惑星科学連合大会評議員などを務めた。

その他

関西国際空港地盤調査、琵琶湖深層掘削研究などに参加、関西での「ふるさと地盤診断ウォーク」(1999年から実施)、別府での「夏休み地獄ハイキング」(2005年から実施)、別府温泉地球博物館理事

受賞

環境大臣表彰(温泉関係功労者表彰)、日本地質学会論文賞、地盤工学会関西支部功労章、別府市特別表彰、大分県知事表彰、日本第四紀学会学会賞

著書など

- 『日本の地質 九州地方』(編集および分担執筆) (朝倉書店).
- 『環境考古学ハンドブック』(分担執筆) (朝倉書店)
- 『氷河時代の画期』 講座「文明と環境」第2巻 地球と文明の画期 (朝倉書店)
- 『新関西地盤』「神戸および阪神間」「京都盆地」「大阪平野から大阪湾」(関西地盤情報活用協議会)
- 『バイエリアの地盤と建設—大阪湾を例として』(大阪湾地盤情報の研究協議会)
- 『日本列島火山灰層序と年代』「日本列島植生史」(朝倉書店)
- 『堆積物に認められる火山活動の歴史』「古代の環境と考古学」(古今書院)
- 『別府の地質』「別府の自然」(別府市).
- 「大分歴史事典」(分担執筆) (OBS)

学術講演

演題

「外科学潮流の大変換」

講師

九州大学大学院 医学研究院  
臨床医学部門 外科学講座  
消化器・総合外科学分野 教授  
大阪大学 名誉教授

森 正樹 先生



別府市医師会設立100周年を心からお祝い申し上げます。この度はその祝賀会において講演の機会を賜り感謝申し上げます。

今回の講演では主に次の二つの事についてお話し致します。

1) 外科学のパラダイムシフト

・外科学において手術は主流の治療法であるが、特に腹部手術においては開腹手術から腹腔鏡手術へとアプローチ法が大きく変化しています。また、腹腔鏡手術でも多孔式に加え単孔式アプローチも増えています。さらにはダビンチを用いたロボット手術も増えてきました。AIは診断学では大きな存在感を示していますが、手術法についても徐々に研究が進みだしました。これらの急速な変化について紹介します。

・手術法に加え抗がん剤治療の開発も急速に進展しています。従来は根治が困難と考えられる症例でも、抗がん剤治療と手術を組み合わせる事で根治治療ができるようになる症例も増えてきました。この点も紹介します。

・他方、大学の医局運営についても大きな変化が見られます。九州大学を例にとると、120年近く続いてきた第一外科と第二外科の二つの外科の統合が進みつつあります。主な大学ではこのような流れが加速しつつありますので、紹介します。

2) 難治癌の克服に向けて

・抗がん剤治療で生き残る癌細胞があり、癌幹細胞と呼称されています。私たちは癌幹細胞を可視化することに成功し、その細胞の性質を調べています。通常の癌細胞と異なる点、その細胞を攻撃する方法について、現在までの知見を紹介します。これにより従来では根治が困難とされていた進行癌に対して、新たな戦略が提示できると期待しています。

森 正樹 (もり まさき)

1956年3月20日生 (62歳)

学歴

昭和55(1980)年3月 九州大学医学部卒業

昭和61(1986)年3月 九州大学医学系大学院修了

職歴

昭和55(1980)年6月 九州大学医学部第二外科入局

平成3(1991)年4月 アメリカ合衆国ハーバード大学留学

平成5(1993)年6月 九州大学医学部第二外科助手

平成6(1994)年4月 九州大学生体防御医学研究所助教授

平成10(1998)年4月 九州大学生体防御医学研究所教授

平成20(2008)年4月 大阪大学大学院医学系研究科教授

賞罰

第12回村上記念「胃と腸」賞 (1987年)

小林がん学術振興会 革新的研究表彰 (2009年)

日本医師会医学賞 (2010年)

高松宮妃癌研究基金学術賞 (2013年)

大阪大学総長顕彰 (2013-2017年)

佐川がん研究振興財団 佐川特別賞 (2013年)



所属学会など

日本外科学会 (理事長 2017 年～) (理事 2014 年～) (評議員 1998 年～)	日本癌学会 (副理事長 2016 年～) (理事 2008 年～) (評議員 2001 年～)
日本消化器外科学会 (理事長 2011～2015 年) (理事 2009～2015 年) (監事 2016 年～) (評議員 2009 年～)	日本癌治療学会 (理事 2011-2015 年) (監事 2015 年～) (評議員 1999 年～)
	日本消化器癌発生学会 (理事 2002 年～) (評議員 1998 年～)
その他: Honorary Fellow of the American Surgical Association (2018 年～) Society of Surgical Oncology (Executive Council 2018 年～)	

資格

日本内視鏡外科学科技術認定医 (大腸) (2011 年～)  
Da Vinci Certificate (Console surgeon) (2018 年～)

役員など

日本学術会議第 23 期会員 (2014 年～)	医薬品医療機器総合機構 (PMDA)
日本医学会連合理事 (2015～2017 年)	科学委員会委員 (2012～2016 年)
” 副会長 (2017 年～)	日本消化器関連学会機構理事 (2011～2016 年)
日本医学会幹事 (2015 年～)	” 監事 (2017 年～)
日本医療研究開発機構 (AMED)	日本がん治療認定医機構理事 (2013 年～)
プログラムオフィサー (2014-2016 年)	

大型研究費獲得状況 (研究代表者のみ)

戦略的創造研究推進事業 (CREST): テーラーメイド医療を目指したゲノム情報活用基盤技術

「大腸癌の発生、進展および治療感受性に関わる因子の解析」(研究代表者:平成 16 年～平成 21 年)

文部科学研究費基盤 (S)

「食道癌の診療向上のための分子遺伝学および分子疫学的研究」(研究代表者:平成 17 年～平成 21 年)

厚生労働省科学研究費補助金 第 3 次対がん総合戦略研究事業

「医療費削減と患者負担軽減をめざした癌の新しい分子遺伝学的診断・治療法の開発」(研究代表者:平成 16 年～平成 18 年)

厚生労働省がん研究助成金 (森班)

「胃癌および大腸癌の骨髄・末梢血・リンパ節の中における転移形成能を有する遊離癌細胞 (Isolated Tumor Cell:ITC) の検出とその臨床応用」(研究代表者:平成 16 年～平成 20 年)

文部科学研究費基盤 (S)

「高精度の分子遺伝学的評価による食道癌治療成績向上のための包括的研究」(研究代表者:平成 22 年～平成 26 年)

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (第 3 次対がん総合戦略研究事業)

「リプログラミング技術による消化器癌の新しい診断・治療」(研究代表者:平成 22 年～平成 25 年)

独立行政法人 医薬基盤研究所 (先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業)

「難治性消化器癌の革新的な RNA 創薬・治療の実現化」(研究代表者:平成 24 年～平成 26 年)

文部科学省「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」

「癌医療のための革新的な核酸創薬 mi-iPSc」(研究代表者:平成 25 年～平成 26 年)

平成 26 年度厚生労働科学研究委託費 (革新的がん医療実用化研究事業)

「固形がん幹細胞を標的とした革新的治療法の開発に関する研究」(研究代表者:平成 26 年～平成 28 年)

文部科学研究費基盤 (S)

「包括的統合的アプローチによる日本人早期膵癌の高精度診断の具現化」(研究代表者:平成 27 年～平成 31 年)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) (革新的がん医療実用化研究事業 (二次))

「難治性消化器がんに対する核酸医療の臨床への展開」(研究代表者:平成 29 年～平成 30 年)

編集委員

Annals of Gastroenterological Surgery (Editor in chief)  
Journal of the American College of Surgeons  
Annals of Surgical Oncology  
Cancer Science

Hepatology (2012-2016 年)  
International Journal of Clinical Oncology  
International Journal of Oncology  
Oncology Letters

---

---

創立100周年



別府市医師会

---

---